

1. 科目名（単位数）	社会福祉経営特論（2単位）	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5352
2. 授業担当教員	【池袋】中野 隆之 【名古屋】岡田 広司			
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッションを伴ったものにする。		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	近年、社会保障分野への構造改革による多様な事業体の参入やサービス提供の多様化など、社会福祉サービスのあり方が大きく変化している。福祉サービスへのニーズの変化するなかで、それを提供する組織と経営のあり方は、社会福祉の進展には重要な課題である。また、社会福祉サービスは、国や地方自治体などの行政組織、社会福祉法人や医療法人、NPOなどの非営利組織、一般企業などの営利組織、あるいはボランティアなどによって提供されている。 社会福祉サービスの提供においては、国による法制度によって、財源の調達方法や提供方法が定められている。しかしながら、各組織では、国の法制度をそのまま受け入れるのではなく、夫々工夫して質の高い福祉サービスを実現している。 この科目では福祉サービス組織を多角的に捉え、地域、行政、福祉サービス事業者からの多様な要請、政策や制度などを踏まえて、社会福祉の組織の経営に関わる基本的な法制度、運営管理の理論や方法を論考し、受講者の身近で実践的課題を取り上げながら講義を進め、常に社会の実践活動で役に立つ視点からの講義を進める。 授業の進め方は、教科書は特に指定することなく、各授業回でテーマに沿った講義資料を提供し、ディスカッションを含めて学習する。			
8. 学習目標	1. 社会福祉の組織の経営に関わる基礎的理論を理解する。 2. 社会福祉サービスを提供するための財源の仕組みを理解する。 3. 福祉、介護、医療関連などを中心とした経営組織で活用できる質の高い管理方法を習得する。			
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	シラバス「14. 学習の展開及び内容」の各テーマを参照			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特に指定しない。毎回、参考資料を配布する。 1.（ZOOM授業の場合）予習ができるように、授業日より前にオンラインで資料（プリント）を送付する。 2.（対面授業の場合）予習ができるように、授業日より前に教室で資料（プリント）を配布する。 【参考文献】 小松理佐子編『よくわかる社会福祉運営管理』ミネルヴァ、2012。 社会福祉学習双書編集委員会編『地域福祉論―地域福祉の理論と方法「社会福祉学習双書」2020』社会福祉法人・全国社会福祉協議会、2020。 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 11. 福祉サービスの組織と経営』中央法規、2017。 富田裕司著『社会福祉施設経営管理論 2020』社会福祉法人・全国社会福祉協議会、2020。 福祉臨床シリーズ編集委員会編『社会福祉シリーズ 11. 福祉サービスの組織と経営』弘文堂、2019。			
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 本特論を受講した結果、「授業内容の理解度」の他、主に次の能力の習得度を評価基準とする。 「論理的展開思考」「創造的発想」「実践的応用展開」「緻密な表現と発表技法」 ○評定の方法 レポート提出 60%、 授業参加態度 30%、 授業準備 10%			
12. 受講生へのメッセージ	1.（ZOOM授業の場合） 授業中はビデオおよびカメラをONにすること。 特段の理由なくビデオをONにせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 （対面授業の場合） 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員による指導下におく。 2. 受講生が将来活動の道標となる社会福祉経営の知識は多種に及ぶと思われます。社会福祉経営の基礎理論や現実の課題を考察しながら、受講生の関心のある課題についてさらに学習を深めます。 3. 学習にあたっては、授業担当教員が長年企業で取り組んだ経営管理の事例、産学官連携の中で進めてきたバリアフリーの研究等の事例を導入し、社会福祉経営の視座において実践的で有効的な講義にします。 4. 受講生が社会で福祉・介護あるいは医療機関などで経営管理を考える場合に役立つ授業にしたい。			
13. オフィスアワー	別途通知する。			
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】				
1. テーマ	オリエンテーション、社会福祉サービス提供組織の沿革			
【学習の目標】	社会福祉サービスの組織と経営の基本的構成要素を理解し、社会福祉経営の重要性と共にこの学問を学ぶ意義を理解する。			
【学習の内容】	1. 社会福祉サービス提供組織の沿革とその組織を取り巻く背景、組織の高度化や複雑性を学習する。 2. 社会福祉サービス提供組織の多元化及び組織の範囲、内部の参加者としての役割を学習する。			
【キーワード】	福祉サービス、組織の時代、介護サービス			
【学習の課題】	高齢化の進展、家族機能の変化、障害者の自立と社会参加の進展などに伴い、社会福祉経営のあり方を理解する。			
【参考文献】	担当教員が配布するプリント及び指示する参考書などを参照する。以下、各テーマとも同じ。			
【学習する上での留意点】	各自の知る範囲で、身近な社会福祉サービスとの比較をして、関心を持って考察を深める。			

2 . テ ー マ	社会福祉サービス提供組織の役割
【学習の目標】	社会福祉事業法成立及び介護保険法の成立を解説し、それに基づいて社会福祉サービスの有効性や効率性、その限界などを理解する。
【学習の内容】	1. 社会福祉事業法成立までと、成立以降の介護保険成立までの福祉サービス提供組織の役割を学習する。 2. 社会福祉契約化時代の到来、介護保険法から障害者総合支援法及び、社会福祉法成立を学習する。
【キーワード】	社会福祉法、 介護保険法、 障害者支援法
【学習の課題】	社会福祉事業法の成立から介護保険法成立までの過程を、社会福祉制度の充実、福祉サービスの契約化の到来を通じて理解する。
【参考文献】	担当教員が配布するプリント及び指示する参考書などを参照する。
【学習する上での留意点】	社会福祉サービス提供組織の役割と概念をつかむ。これまでに各自が関わった組織と個人との関係などを事例として考察したい。
3 . テ ー マ	社会福祉サービス提供組織の体系と制度
【学習の目標】	社会福祉事業を実施する社会福祉施設を取り巻く環境と現状について理解する。
【学習の内容】	1. 社会背景の変化に伴う社会福祉施設の制度の新設・改変およびその分化を学習する。 2. 地域において福祉サービスを提供する社会福祉法人などの組織に関する制度と役割を学習する。
【キーワード】	社会福祉施設、 社会福祉法人、 医療法人
【学習の課題】	社会福祉事業実施の場としての社会福祉施設の変化と施設機能の地域化などを学習する。
【参考文献】	担当教員が配布するプリント及び指示する参考書などを参照する。
【学習する上での留意点】	社会福祉施設はかつての救済・収容・教導・授産など慈善活動の場から、国の責務とされている社会福祉のあり方を学習する。
4 . テ ー マ	社会福祉サービス提供組織と地域社会
【学習の目標】	地域の社会福祉の中核を担う社会福祉協議会、さらに NPO の現状、地域社会との関連、非営利組織について理解する。
【学習の内容】	1. わが国固有の民間社会福祉経営組織である社会福祉法人の機能と役割を学習する。 2. 地域福祉領域における福祉サービスの提供組織、非営利組織、市民団体について学習する。
【キーワード】	社会福祉協議会、 非営利組織、 NPO
【学習の課題】	組織は戦略に従い社会福祉経営の戦略と組織の重要性を意識し、さらに組織間関係のあり方に注目して学習したい。
【参考文献】	担当教員が企画・開発して成功した事業において福祉経営の学習の参考になるプリント及び指示する参考書などを参照する。
【学習する上での留意点】	社会福祉の組織と経営は、地域行政からのコントロールや組織間関係によってその資質が変わることに注目したい。
5 . テ ー マ	社会福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論
【学習の目標】	現代社会の組織がどのような役割を果たしているか、また優れた組織を構築するための原理・原則について理解する。
【学習の内容】	1. 現実の社会福祉組織が有効に機能して行くために遂行されなければならない経営管理機能を学習する。 2. 社会福祉における有効性指標、福祉組織における有効性に関するモデルを学習する。
【キーワード】	組織有効性指標のダイナミクス、 福祉経営組織目標、 財務目標ネットワーク
【学習の課題】	福祉経営組織目標の複雑性を考察し、従業員中心の目標システムの事例などを理解し、福祉組織目標の考え方を理解したい。
【参考文献】	担当教員が実践し、福祉経営に適応されるビジネス組織活動事例に関するプリント及び指示する参考書などを参照する。
【学習する上での留意点】	社会福祉サービス組織の経営目標やその有効性との理論に対して事例との対比を通して理解を深めたい。
6 . テ ー マ	福祉サービスの管理と運営に関する基礎理論
【学習の目標】	現代管理論の基礎となった伝統的な基礎理論を理解し、また組織が有効に機能するための管理機能を理解する。
【学習の内容】	1. 科学的な管理や方法を初めて提唱したテイラーの科学的管理法などについて学習する。 2. 企業の経営活動を分類し、管理の実践上の原則を提示したファヨールの管理過程論を学習する。
【キーワード】	科学的管理法、 管理過程論、 人間関係論
【学習の課題】	伝統的な基礎理論を理解することによって、個人の組織への参加意欲や貢献意欲の要因、新しいシステムのあり方を理解したい。
【参考文献】	担当教員が実務家として活動した社会福祉の経営管理と運営に関するプリント及び指示する参考書などを参照する。
【学習する上での留意点】	企業組織や経営管理が着実に発展した背景にある官僚制システム、ヒエラルキーなどに対しても考察したい。
7 . テ ー マ	社会福祉における集団力学とリーダーシップ
【学習の目標】	福祉サービスおよび福祉施設管理における集団力学とリーダーシップに関する理論について理解する。
【学習の内容】	1. 集団力学の基礎理論として、集団の凝集性と生産性、グループダイナミクスについて学習する。 2. リーダーシップ・スタイル論、コンティンジェンシー理論などリーダーシップに関する基礎理論を学習する。
【キーワード】	集団力学、 リーダーシップ、 コンティンジェンシー
【学習の課題】	多様な個人が集合して形成される集団がもつ性質や作用する集団力学と集団内で発生するコンフリクトについて理解したい。
【参考文献】	担当教員が体験したコンピュータ導入によるビジネスやジョブ革新に関するプリント及び指示する参考書などを参照する。
【学習する上での留意点】	福祉サービスにおいて、集団の業績を高めるための有効なリーダーシップの行動パターンについて考察する。
8 . テ ー マ	社会福祉サービスの業務運営と経営
【学習の目標】	社会福祉組織の運営と経営の基本的な考え方、社会福祉法人の組織運営と経営を理解する。
【学習の内容】	1. 福祉サービスの組織運営と経営の特徴、公益的活動としての福祉サービスの経営を学習する。 2. 社会福祉法人の経営の原則、コンプライアンス、ガバナンス、経営の透明性の確保などを学習する。
【キーワード】	組織運営、 法令順守(コンプライアンス)、 組織統括(ガバナンス)
【学習の課題】	社会福祉法人が持つ組織風土やコミュニケーション・ネットワークがどのようにして業務運営を進めて行くか。

【参考文献】 社会福祉サービス組織がもたらす業務運営や企業文化の事例テーマ、指示する参考書などを参照する。 【学習する上での留意点】 福祉サービスにおいて、法令順守やガバナンスがコンプライアンスが経営管理システムに影響を与えるという点に注目したい。	
9 . テ ー マ	NPO 法人およびその他の組織の運営と経営
【学習の目標】 NPO 法人および医療法人の運営と経営を理解し、一般の企業つまり営利法人との相違点を理解する。 【学習の内容】 1. NPO 法人とは何か、NPO 法人の組織運営、特定非営利活動、医療法人改革の要点などを学習する。 2. 福祉サービス提供組織の基盤としての資産と管理、経常的運営財源、使途制限を学習する。 【キーワード】 NPO 法人、医療法人、特定非営利活動 【学習の課題】 従来の社会福祉サービス領域に、営利法人（会社）の介護・福祉サービス事業の参入が進んでいる点にも留意して学習する。 【参考文献】 担当教員の企業時代、当該企業が介護・福祉サービス事業に参入し、成功している。具体的な事例を含めた資料を参照する。 【学習する上での留意点】 市民の権利擁護を図るため、行政や公的組織の監視と改善にあたる福祉オンブズマン組織があるので、その意見なども研究したい。	
10 . テ ー マ	社会福祉サービスに求められる財務・会計管理
【学習の目標】 福祉サービスの経営のあり方を理解し、安定的な経営を導くために、財務管理のあり方や財務諸表の活かし方を理解する。 【学習の内容】 1. 社会福祉事業の経営管理、経営戦略、サービス利用者、労働者(職員)、事業者(経営者)のバランスを学習する。 2. 福祉サービス事業における管理会計の必要性を理解し、財務会計及び財務諸表の見方を学習する。 【キーワード】 経営戦略、財務会計、管理会計 【学習の課題】 良質なサービスを提供しても、収支が恒常的に赤字や債務超過となるような事業の継続は困難、高い利益を上げても利用者不満の低サービスでは問題である。 【参考文献】 担当教員が体験した事業マネジメントに関するプリント及び指示する参考書などを参照する。 【学習する上での留意点】 社会福祉事業・施設のミッションを理解し、常に社会福祉法人会計のあり方に関心を持つ。	
11 . テ ー マ	社会福祉サービス提供組織の人事労務管理
【学習の目標】 福祉・介護サービス分野における人事労務管理の管理領域について理解する。 【学習の内容】 1. 福祉・介護サービスの機械化や省力化が難しい極めて労働集約性の高い現状を学習する。 2. 採用管理、人事評価管理、能力開発、メンタルヘルス・マネジメントなど組織のダイナミクスを学習する。 【キーワード】 人事労務管理、労働集約性、組織のダイナミクス 【学習の課題】 福祉サービスは人が直接サービスを提供するため人件費率が極めて高い、労働集約性をどう乗り越えるか、新しい仕組みを考えたい。 【参考文献】 担当教員が組織の変革と企業の発展に関するプリント及び指示する参考書などを参照する。 【学習する上での留意点】 福祉サービスはその政策理念と現実とのギャップの中で、利用者、労働者、事業者の3者が受けるメリットのバランスをどうするか。	
12 . テ ー マ	社会福祉サービス提供組織の設置基準と管理体制
【学習の目標】 社会福祉事業と社会福祉を目的にする事業の違い、社会福祉施設の事業の設置管理基準の概要を理解する。 【学習の内容】 1. 社会福祉事業の設置管理基準（人員・設備・運営に関する基準）を学習する。 2. 地方主権一括化法の施行に伴う社会福祉分野の地域主権化の方向性を学習する。 【キーワード】 社会福祉事業、地域主権化、設置管理基準 【学習の課題】 地域主権改革により、社会福祉法人の指導監督、社会福祉施設の設置管理基準の制定など、地域への権限移動が進んでいる。 【参考文献】 担当教員が新製品開発など企業で実践した体験と組織の学習に関するプリントや指示する参考書などを参照する。 【学習する上での留意点】 社会福祉サービスの提供者としての行政サービスの構造及び超高齢化社会における地方自治体のあり方に常に留意する。	
13 . テ ー マ	福祉サービス組織の管理運営の方法と現状
【学習の目標】 社会福祉サービス提供組織におけるコンプライアンスとガバナンスのあり方について理解する。 【学習の内容】 1. 経営組織におけるコンプライアンスとガバナンスの定義について学習する。 2. 福祉サービス提供組織の管理運営の方法、財源と財務管理・会計管理の基本的な考え方を学習する。 【キーワード】 労働環境、介護保険制度、人材育成 【学習の課題】 介護保険制度施行後、社会福祉法人にも一般企業同様、社会的責任が問われ法令順守体制の構築が求められている点に注目したい。 【参考文献】 全国の福祉サービス提供組織での事例に関するプリント及び指示する参考書などを参照する。 【学習する上での留意点】 質の高い介護サービスの提供にあたって、OJT など職場内外での、専門性を高める教育訓練の充実が急務となっている点に留意する。	
14 . テ ー マ	利用者のニーズとサービスマネジメント
【学習の目標】 福祉サービス提供組織の構成機能である職員、組織、情報、物品、設備などの効率的動員について理解する。 【学習の内容】 1. ドラッカーの理論を参考にしつつ、組織の展開に影響する要素、サービスの質・施設の専門性を学習する。 2. 複雑化・多様化・高度化・深刻化・複雑化している利用者のニーズを分析するマーケティング手法を学習する。 【キーワード】 ドラッカー、福祉サービス情報、福祉サービス・マーケティング 【学習の課題】 福祉サービスはサービス主導でなくニーズ中心でなければならない。利用者が抱えるニーズに関心を持つべきである。 【参考文献】 高齢者や障害者の介護施設や病院の資料など、担当教員が配布するプリント及び指示する参考書などを参照する。 【学習する上での留意点】 超高齢社会を迎え、営利が必ずしも活動の中心にない組織が重要になる。つまりヒューマン・サービス組織の重要性に留意したい。	

15. テーマ	社会福祉サービス組織の危機管理
【学習の目標】	福祉サービスにおけるリスクマネジメントとその管理体制について理解する。
【学習の内容】	1. 福祉サービス組織の中でのリスクマネジメントに有効な PDCA サイクル手法を学習する。 2. 社会福祉サービス組織の経営の基本的な考え方の再確認、および福祉サービスの質の向上と危機管理について学習する。
【キーワード】	リスクマネジメント、 PDCA サイクル、 ネットワーク組織
【学習の課題】	福祉サービス組織における危機管理は、権利擁護の視点と共に、サービスの質の向上につながる点を重視したい。
【参考文献】	担当教員が配布するプリント及び指示する参考書などを参照する。
【学習する上での留意点】	個人情報保護への過剰な反応は却って利用者の権利を阻害する場合がある。適切なサービスと安心利用との均衡性を考察したい。